

新型コロナ禍でも  
熱いプロ野球がここにある——

盃 剣



ふるさとで全力を尽くす野球を観に行こう!!

**BCリーグ** 応援し隊

BASEBALL CHALLENGE LEAGUE

独立  
リーグ  
合同誌

2021

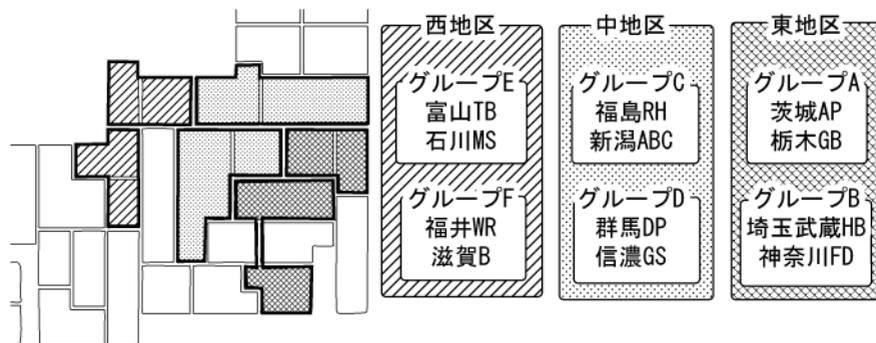
DOJIN  
全年齢  
全年齢対象  
2021年4月  
購入・発売中

## 目次

各チーム紹介		4
2020年特別ルール	ハチマキくろだ	6
BCリーグ以外の野球独立リーグ	ハチマキくろだ	7
野球人から見るNPBとBCリーグの違い	アツアギ	8
usual (2020年初BCL観戦)	amos mil	14
2020シーズンの思い出	やべっちBC	18
2020年ルートインBCリーグ回顧		
「果てなき絶望、果てなき希望」	TAT (TOH)	24
BCリーグのない地域に住んでいた私が		
BCに興味を持ち、福井ミラクルエレファント/ 福井ワイルドドラフターズのファンになったきっかけ	Tak-I	38
福井ワイラプと高橋康二を見に行った	HISATO	42
本場甲賀で甲賀忍法帖が聞きたかった	HISATO	44
埼玉武蔵vs神奈川 宿命の対決Part. 1～39	HISATO	46
☆ミリスタのSNSをフォローしてねって話☆	浅村悠希	48
独立リーグの面白さを		
「スタンドの人」をテーマに語る	ベンガベンガ	58
某年初夏、群馬にて	りささり	67
乳がんとコロナとBCリーグ。	ほめるん	72
拝啓、後輩だったかもしれない君へ。	モチ	77
ドラフトPV行ってきた。	ぎっこ	80
栄転球人 ジャリボーイ	amos mil	84
ある家族から見たBCリーグ	和田まいこ	94
南三陸の夜空にトランペットの音色が響く ～ ゼロ泊3日600キロ弾丸ツアー ～	環俊次	102
BCリーグは僻地でやりがち。	ハチマキくろだ	114
表紙・裏表紙イラスト	アツアギ	

# 2020年特別ルール ～ 裏表紙よりちょっとだけ詳しく～

202年のBCリーグはCOVID-19(新型コロナウイルス肺炎)対応で、開幕を遅らせた上で試合時間を短縮し(7回以降2:45で打ち切り)、さらに移動量を減らすためにリーグ分けを変更しました。



## ■ 地区チャンピオンシップ (各地区の1位が対戦)

<p><b>2-4</b></p> <p>E: 富山 F: 福井 西地区</p>	<p><b>6-12</b></p> <p>C: 福島 D: 信濃 中地区</p>	<p><b>3-15</b></p> <p>A: 栃木 B: 神奈川 東地区</p>
--	---	--

勝利3チームと、いちばん惜敗だった富山が準決勝に進出

## ■ チャンピオンシップ準決勝

<p><b>10-9</b></p> <p>東地区: 神奈川 ワイルドカード: 富山</p>	<p><b>6-5</b></p> <p>中地区: 信濃 西地区: 福井</p>
--	--

## ■ チャンピオンシップ決勝

信濃GS	000 000 000 = 0
神奈川FD	000 010 00x = 1

神奈川フューチャードリームスが参加1年目で本当に栄冠を獲得!!

日本国内のトッププロ野球組織である「NPB」。

そのリーグは、世界屈指の野球技術を提供している。この事実を正しく認識している日本国内在住者はどの程度いるだろうか？ その世界屈指のNPBと、BCリーグや四国アイランドリーグなど日本国内の独立リーグはそもそもレベルが異なるのだ。もし、独立リーグを「NPBと同じプロ野球」という認識で観戦してしまうと楽しむことが難しくなる。

お金を払って最高の野球を観戦する——それはプロ野球観戦する上で当たり前の欲求である。

最高の野球はNPBに勝てない。当たり前である。世界でも屈指の野球リーグだからだ。しかし、野球だけでなく野球観戦に行くというプロセスも含め娯楽として楽しむのであれば、BCリーグなど独立リーグもなかなか面白い趣味になる。

それではしばらく時間を頂いて、筆者から以下4つの視点を提示したい。読者それぞれの感想はあるはず。一意見として頭の片隅に置いておいて頂けたら幸いである。



## 観客の心構え①——

1) NPBとの差は打球速度

## 観客の心構え②——

2) コミュニティが継続の要

## 観客の心構え③——

3) 移動の過程を楽しもう♪

## NPBへの道のりのご提案——

4) 野球以外のアピールが重要

## 1) NPBとの差は打球速度

NPBとBCリーグの力量差はどこにあるか——そう聞かれたら貴方はどう答えるだろうか？ 居酒屋に独立リーグ愛好家が集まり、この話題を肴にお酒を呑んだら色々な意見出てくるはずだ。新型コロナ禍では難しいが、たった2時間の飲み放題コースでは時間が足りないだろう。

そこで高校から大学まで弱小野球部に所属した筆者が痛感するNPBとの力量差を紹介しよう。普通、ネガティブな話から入る？ と思う読者もいるだろうが、これには理由がある。ネガティブな部分を認識してNPBとの力量差を確認すると、「独立リーグが思ったより楽しい世界である」と気づけるからだ。

さて、NPBとの力量差はどこにあるかということ——打球速度である。

打球速度の差を許容すると、独立リーグ観戦はコストパフォーマンスが高い趣味になる。

打球速度は本塁打や長打、という見えやすい部分へ影響する。打った瞬間の特大本塁打は、野球観戦する中で楽しみの一つだろうが、特大本塁打を放つにはNPBトップ打者の打球速度である160km/hを超える必要がある。この点で独立リーグは劣る。実測してないが、打球速度の平均はNPBと独立リーグで大きな差があるはずだ。それ故に、独立リーグは長打に対する期待値が低くなるため、野球に迫力を求める方にとっては退屈な観戦になるかもしれない。

しかし、打球速度の平均が低いことは、野球観戦という娯楽において悪いことではない。

# usual (2020 年初 BCL 観戦)

amos mil

先に書かせて頂く

2020 年、ルートイン BC リーグはコロナウイルスに翻弄された  
その苦難を乗り越え開幕を迎え無事シーズン終了できた  
それは選手・球団関係者・運営本部・そしてファン  
皆の力を団結させた賜物であると

新型コロナウイルスという極微小な化け物  
こいつの蔓延により世界全土が恐怖に陥る  
当然、スポーツの 1 つ野球へも影響が  
学生野球、社会人・クラブ野球、プロ野球 全ての野球  
大会の相次ぐ中止や日程変更、活動停止  
これは野球選手やファンには残酷すぎる現実・・・

BC リーグは

当初の予定 4 月 11 日の開幕日が延期し未定・白紙に  
苦難の末 6 月 20 日、約 2 ヶ月遅れでの開幕  
地区割や試合数・ルール変更、観客数制限、そしてコロナウイルス対策  
様々な条件はあるものの開幕できただけでも有り難き幸せ

自身が応援する埼玉武蔵ヒートベアーズ

6 月 20 日ホーム開幕戦は無観客試合

7 月 14 日に有観客を想定したテスト試合実施

遂に球場観戦ができるとテスト参加に申込み

当日、胸躍らせながら車にて球場、鴻巣フラワースタジアムへ

## 2020シーズンの思い出

やべっちBC

### 《前書き》

私は栃木県在住で、主に東地区を中心にBCリーグをのんびり楽しんでおります。BCリーグ合同誌については、過去2回は読者として楽しませていただきましたが、自分も何か書いてみようと思ひ、この度ノリと勢いで執筆することを決めました。

さて、2019年は数多くの名勝負を見れて楽しかった一方、秋に父の死去という辛い出来事もありました。9月末に出張先の旭川市で倒れたとの連絡が入り、その日のうちに私と母で搬送先の病院に向かいました。倒れた後一時心肺停止状態になっていたとのことでしたが、医師の処置もあり蘇生。その後集中治療室に入りました。意識の回復を待ちましたが、約2日後に容体が急変し、「脳死状態である」と医師から告げられました。さらにその2日後に亡くなりました。遠方のため栃木まで遺体を運ぶことができないため、旭川で火葬を済ませて栃木に帰りました。悲しさよりも余りのドタバタぶりで肉体的、精神的な疲労が大きかったです。このこともあり、年が変わるのを機に気持ちをリセットし、2020年は楽しい1年にしたいという思いで迎えました。

ところが、新型コロナウイルスの影響もあり、3月に公式戦日程は出たものの、オープン戦は無観客、開幕延期、緊急事態宣言により全チームで活動自粛となるなど、事態は悪化するばかり。5月に緊急事態宣言が解除されたことにより、順次活動再開しましたが、開幕が6月20日と大幅に遅れ、更には驚愕の3地区6グループ制の導入という、予想の遥か斜め上に行く運営体制となりました。しかしながらBCリーグにとってもファンにとっても特別なシーズン、というより否が応でも記憶に残り続けるシーズンなので、どうせなら1つでも多くの思い出を作ろうという思いで、開幕を迎えました。

本稿では、今シーズンの観戦の思い出を5試合選んで書いていきたいと思ひます。

### 《2020年初観戦 2020.7.10 信濃一福島》

首を長くして待ち続けた初観戦は長野県営球場で。2020年初観戦であると同時に、長野に行くとしり帰り感を感じるのでもとても楽しみでした。というのも、私は父の仕事の関係で、長野県に住んでいたことがあったからなのです。小諸市に2年ほど、長野市に3年ほど住んでいました。小諸市ではとあるキリスト教の幼稚園に通っており、毎日アーメンだからラーメンだか知りませんがお祈りをしていました。好きな遊具はデカめの三輪車だったことを憶えています。他にも、家から小学校まで歩くのがきつかったこと今となっては良い思い出です。小学2年生の時に、当時開校し

## 2020年ルートインBCリーグ回顧

### 「果てなき絶望、果てなき希望」

2020/10/22

TAT (TOH)

初めまして。私はルートインBCリーグに所属する「群馬ダイヤモンドペガサス」を応援するいちファンであります。

BCリーグ合同寄稿誌では過去二回寄稿しまして、当初はこの段階で区切りをつけるつもりでした。しかし2020年という世の中でも球界でも異質だった年を記録する事で、BCリーグの歴史においても将来貴重な資料になり得るのではないかと、私自身も今年を「BCリーグに本格的に関わる最後の年」と位置付けている事から、今年一年の個人的な振り返りを書いてみる事にしました。

2020年は新型コロナウイルス（COVID-19）の出現により世の中の「当たり前」が次々と壊れ、私の生活も当初想定したものとは大きくかけ離れたものとなりました。BCリーグも例外ではなく、開幕延期、自粛で練習すらできない球団も多く、消滅危機が報じられるなど数多くの苦難がありました。しかし球団やリーグの関係者、OB選手、ファン同士でも知恵を絞り、改めてこのリーグの力強さを認識する事になりました。

シーズンが何とか開幕しても地域の感染警戒レベルは下がらず、感染リスクから他県へ赴く事も中々出来ず、群馬県がこんなに遠いと思った年はありませんでした。一方で苦しい中からスポーツとは、興行とは、趣味とは、生活とは…という普段あまり意識しなかった事も見えてきました。福井球団の消滅危機からワイルドドラプターズを立ち上げるまでの経緯も強烈でして、存続活動に関わられた事を誇りに思います。

2019年10月から2020年10月まで月単位で私が感じた事を記します。遠い未来でBCリーグ、更には他の独立リーグで似た様な難局が訪れた際に、戦う者たちを後押しする希望になってくれれば幸いです。

## BCリーグのない地域に住んでいた私がBCに興味を持ち、福井ミラクルエレファント/福井ワイルドラプターズのファンになったきっかけ

はじめまして、福井ミラクルエレファント(以降、福井ME)/福井ワイルドラプターズ(以降、福井WR)ファンのTak-1と申します。

ファンといっても年に1,2試合しか行けていないまだまだビギナーの身でござります。昨年より仕事の関係で東京に住んでおりますが、元々は兵庫県在住でした。

その兵庫県民だった私が縁もゆかりもない福井のチームを観るようになりファンになったのかについて今回は執筆をさせていただきます。

### (1)きっかけ

最初に福井MEの試合を私が観たのは2015.8.22のvs.富山サンダーバズ@美浜でした。きっかけは友人が福井MEの常連だったことです。元々、西武ライオンズのファンであり、外野席で応援することが好きであった私は当時、元ライオンズの吉竹春樹さんが福井MEの監督をされていたこと、またBCリーグの応援がどんな雰囲気なのかにも興味があったので兵庫県から18切符で友人について美浜まで向かいました。

試合前にサインボールの投げ入れがあり、私は偶然にも吉竹監督のサインボールをキャッチしました。それはそれはテンションが上がりました。

また試合後にも球場外で選手や監督、コーチ陣と触れ合えたりファンサービスをいただく時間もあり、それだけでBCリーグ楽しそう!福井にきて良かった!という気持ちになりました。



[写真]当時キャッチした吉竹春樹元監督のサインボール

# 福井ワイラプと高橋康二を見に行った HISATO

今年度のBCリーグは、移動を極端に減らし、地区交流戦は皆無。あつちが来ないならこっちから。さすがに緊急事態宣言下では自粛したが、後半には少しずつ足を伸ばしてみた。

新潟、福井、富山、滋賀、長野。回数は少ないけれども。

一番遠かったのが福井フェニックススタジアム。

埼玉から片道6時間。バス停からは近いけれども、バスが2時間平気でなかったりする。行きは良いけど帰りは別のバス停まで30分走った。「二度とバスで来ない！」と誓ったけれども、1か月後にまたバスで来てしまったのは内緒だ。

福井ワイルドラプターズは、昨年のミラクルエレファントから生まれ変わった球団。去年まで見たことがなかったけど、今年は3回見に行った。色々魅力のあるチームだった。

まず小松原鉄平社長と三木田龍元広報が、SNSをよく使ってるし、自分たちでどんどん動いて発信する。遠くからでも親しみを持ってしまう球団作りに貢献している。

選手たちも、元NPBはいないし、福澤監督が投手を、兼任コーチの荒道さんが野手を指導、二人の指導者でもチームは強くなるんだな…と。

トクサンTVが資金とともにYouTubeチャンネルを提供しているのだが、ドラフト候補の高橋康二が注目を集めていたのも、元は動画の影響が大きい。「1年で138km/hから154km/hに！」という動画は目を引いた。実際に見てもいい球だったし、メンタルも強い。もっとたくさんのチームを相手に投げるところが見たかった。

ドラフト指名は確実かと思われたものの、指名漏れ。年齢が25歳というせいもあったろうか。

## ☆ミリスタの SNS をフォローしてねって話☆

2020 年 10 月某日 / 浅村悠希 @asm1814\_38

### ●COVID-19 め、許すまじ！！

いきなり不穏なサブタイトルですが、これを読んでいる方の大多数は一度でもこういったワードを言った (or 浮かんだ) ことがあるのではないのでしょうか。

今年は COVID-19 (以下コロちゃん) という未知のウイルスが流行し、当然ながらルートイン BC リーグも開幕が 6 月まで延期となる事態となりました。一時期は選手たちの野球ができる時間がごっそりと奪われてしまい、それを考えると私自身も悔しい・悲しいという感情が沸き上がりました。

とはいえ、ずっと後ろ向きのままではいけない。コロちゃんが猛威を振るう中、いずれやって来るかもしれない光を取り逃さない為にも、何かしらで笑って過ごせる方法を自分なりに探してみたのです。

「…そうだ、SNS を見よう」

### ●石川ミリオンスターズの公式 SNS

お初で合同誌を読まれる方に軽く説明を致しますと、私は北海道在住ですがルートイン BC リーグの石川ミリオンスターズ (以下ミリスタ) を 3 年ほど前から応援しております。

そんなミリスタには公式の Twitter、Instagram、Facebook、YouTube チャンネルがあるのはご存知でしょうか。今では宣伝の為に SNS というツールは必要不可欠ではありますが、ミリスタも一応そういった類のものはございます。

独立リーグの面白さを「スタンドの人」をテーマに語る

オセアン滋賀ブラックス私設応援団  
「近江豪勝連合」 ベンガベンガ

## はじめに

本書をお手に取って頂きありがとうございます。オセアン滋賀ブラックス私設応援団「近江豪勝連合」のベンガベンガです。この文章は2019年末に刊行された「BCリーグを応援し隊2020」内に執筆させて頂いた、私が担当した内容の続きものとして書いています。是非、「BCリーグを応援し隊2020」も併せて手に取って頂けると理解が深まるかと思えます。

## なぜ、応援団を取り上げるのか

BCリーグは選手や球団の現場スタッフとの距離感が良くも悪くも近く、2、3回球場に足を運べば「球団スタッフが顔を覚えてくれている(やや誇張表現)」くらいの興行イベントです。今年はコロナウイルスの影響もあり一概には言えませんが、平均観客数は500人に満たない球団もあり、有体に言いますとそれだけ客数も少なく、決まった客数(リピーター)が多いと言えます。

そんなBCリーグを応援し、「そこに居る野球選手やスタッフたちの活躍を見守りたい」と思う人たちが増えて欲しい、と言う思いから本書の取り組みが始まった訳なのですが、私は思いました。

「BCリーグと言う興行は選手にばかりフォーカスを当てて良いのか？」

もちろん選手が第一に目立つべきですし、客が目立ってしまっただけでは本末転倒だろうと言うのは百も承知なのですが、客数を増やしていくために「刺さる可能性のある球」はいくらでもあるべきです。それに、NPBにはできないことをやっていかないと今後リピーターたる観客も高齢化が進んでいき減る一方。じゃあ僕たちはどうすれば客が増えることに寄与できるか？そのために僕たちは何が出来るのか？と考えた結果、

「俺たち応援団と一緒にチームの勝利・選手の活躍の後押しをしてくれる人」

が増やしていこう、と考えました。スタンドの仲間が増え、結果的に選手にもフォーカスが当たりますし、推しの活躍を喜べる仲間は多い方が良い、という理屈です。

# 某年初夏、群馬にて

著：りささり

「BC リーグの野球が見られる！」

チケットを握りしめて階段を上りきる。眩しいくらいの青空と、照らされたグラウンド。ボールを打つ音。球場に響く掛け声。

野球場にきた！ 私は野球を見に来た！ そう叫びたい気持ちを抑える。

この高揚感は何となく NPB とか BC とか関係ないんだ、と気付いた瞬間だった。

## 1、初めに

現在の私は BC リーグ観戦から離れており、本作品は過去の観戦備忘録となる。

遠い地に住んでいたため実際に足を運ぶことが出来たのは数回。その中でもとりわけ印象深かった初観戦の思い出を記そうと考えた。

私が何故、BC リーグを見るようになったのか。それは兼ねてより応援している選手が群馬ダイヤモンドペガサスへ入団したためだ。選手が所属していた三年間は新鮮だった。結果に一喜一憂し、野球観戦を手に汗を握るほど楽しむ。夢を追う選手たちの姿を見て時に涙ぐむ——。それは舞台が何処であっても同じなのだと思ったのは BC リーグという世界に出会えたからだ。

いつか何らかの形でこのリーグへ恩返しが出来ればと考えていた所、某氏から本誌へ参加してみないかと誘いを受けた。

拙い本作ではあるが、BC リーグを知るきっかけの一つとなることが出来れば幸いである。

## 2、観戦当日まで

BC リーグという存在は知っていた。一人のフォロワーが某球団を熱心に応援しており、度々所属している選手についてツイートしていたからである。NPB とは異なる世界を面白そうだなとは思っていた。しかし当時の私が住んでいたのは関西の片田舎。当時はオセアン滋賀ブラックスが無く、一番近い球団は富山サンダーバーズ（現・富山 GRN サンダーバーズ）。「あ、ちょっと行ってみよう」と軽い気持ちで行くには躊躇する距離だった。

ある年。応援している選手が戦力外通告を受けた後に BC リーグ入りが決まった。入団する球団は群馬ダイヤモンドペガサス。「おいおい関東じゃないか」と慌てて使用している球場や行き方を調べた。お金はかかるが選手は見に行きたい。そして彼が過ごす BC リーグという世界を見たい。私はシーズン入りを楽しみに過ごした。

シーズン入り後は試合情報をひたすらに追った。休日はホームページの試合速報を確認した。仕事の休憩時間中に群馬ダイヤモンドペガサスで twitter 検索をかけて情

いろいろあった2019年末



# 乳がんと コロナと BCリーグと。

この約1年の間に  
起こった、  
BCリーグ絡みの  
とりとめのない  
自分語りです…。



拝啓、後輩だったかもしれなかった君へ。

3度目の登板、モチでございます。

今回は2020年にとある選手をほんのちょっとだけ応援した記録です。

もちろんこんな状況下なので応援の気持ちは伝えていません。

選手もこんなファンがいたとは知らないでしょう。

それでもいいのです。自己満足も含まれているから。

わたしはドラフト会議等の後で発表される指名選手・特別合格選手の一覧に必ず目を通すようにしている。チェックするのは出身地や出身高校。自分の出身高校からプロ野球選手が出る日を心待ちにしているけど、なかなかその日は来ない……。あとは自分と出身県が同じ&近い選手は覚えておくようにしている。理由はなんとなく親近感が湧いて応援したくなるから。なんでだろう、この気持ち。

ちなみにこの文章を打っているまさに今、西武（元・埼玉武蔵）の松岡がNPB初登板を果たしている。一気に湧く応援の気持ちを抑えられずついtwitter上で荒ぶってしまったが反省はしていない。

正式に入団が決まり、開幕が近づくとリーグHPの選手情報が更新される。

基本的なプロフィールの他、好きな食べ物やニックネームや憧れの野球選手やファンへのメッセージ等読み物としても楽しめる内容。本当にありがとうございます（最敬礼）。

出身学校も小学校から載っているので諸々大丈夫なのかと一抹の不安はあるけども、

「てめえどこ中だよ?」「\*\*中だよ!!」

という類の妄想も楽しめる。……え、ヤンキー的妄想ごっこやらない?そうですか。

そんな中、ある球団の選手情報を見ていたらわたしと同じ出身県の選手を発見。生年月日や身長体重といった情報を見ながら画面をスクロールしていくと、

小学校　〇〇市立△△小学校

中学校　〇〇市立××中学校

……………見覚えがある地名と小学校名。

そこはわたしが生後すぐから未就学児の間住んでいた家のすぐそばの小学校。

小学校の学区なんて徒歩移動余裕の狭さ、下手したら家もご近所。

ついに(わたしが引っ越していなかったら)後輩(になっている)選手が誕生!!

ドラフト PV 行ってきた。

ぎっこ

※この原稿は締め切りまで 1 時間半を切ったところで突発的に書かれています。推敲はよろか誤字脱字のチェックすらしませんので…まあ、そういうことだ。(\*´・ω´)

はい。

2020 年 NPB ドラフト会議のパブリックビューイングイベントに参加してきましたので報告しますよ？

各球団により差異はあれど、独立リーグ民にとって 1 年間の集大成ともいえる一大イベント、NPB ドラフト会議。例年各所でファンを交えての PV など開催されていますね。

今年はコロナがアレしてるのでなかなか難しいところでしたが、我々が埼玉武蔵ヒートベアーズは親会社・温泉道場様の運営店舗のひとつ、「おふろ Café bivouac」(熊谷市)での開催にこぎつけました。

なんと言っても今年はドラフト指名候補に元メジャーリーガー・田澤純一がいるとあって、例年のない騒がしさになりました。

当日は bivouac の営業を休館とし会場などを準備、16 時から PV 参加者は入場、となっていました。僕は午前中に箭弓(やきゅう)稲荷神社(東松山市)を参拝し、その際に東上線の網棚に忘れたカバンを小川町駅まで取りに行くなどし、15 時すぎに現着しました。

夥しいマスコミ陣。

いやあ、改めて田澤純一のネームバリューを感じさせられました。~~これまでの公式戦になんか一度も来なかったような~~各社、実に 36 社もの大勢の皆さんが bivouac の玄関を塞いでおり、ちょっと狼狽。さすがに早く来すぎたかなあ、などと考えていると、馴染みの常連ファンもぞろぞろ来店。

GAIAKU 共「来ちゃった。もう入っていいしょ？」

スタッフの松本さん「(猛然とマスコミ受付中)」

スタッフの横田さん「……。じゃあ、奥の脱衣場に荷物置いて待ってて。」

おふろスタッフ「」

埼玉武蔵ヒートベアーズは、ファンと共に成長する球団です。

16 時を過ぎ、PV 参加のファンも続々来店する中、同じくドラフト候補である梶斗選手、

# 栄転球人 ジャリボーイ

amos mil

## I. 運命の日

2020年10月26日17時から始まった今年の日本野球機構(NPB)のドラフト会議、開始から2時間半以上を経過。支配下選手指名は既に終了し育成選手の指名へと切り替わっていた。

私はパソコンの画面に映るドラフト会議のネット中継を食い入るよう見つめていた。独立リーガーの指名の動向を気になり仕方がない。

指名順位も二巡目となった。指名球団は千葉ロッテマリーンズ。指名選手が決まり司会者が読み上げた。

### 「第二巡選択希望選手 千葉ロッテ

### 小沼 健太 投手 22歳 茨城アストロプラネッツ」

画面に映る「小沼健太」の名前と所属先の「茨城アストロプラネッツ」の球団名…

映し出された直後、私は感激のあまり声も出せずその場に蹲り顔を伏せ感泣。両手には小沼投手が武蔵ヒートベアーズ時代に実際に着用していたユニホームを握りしめて。



「4年間応援し続けて良かった… 遂に指名された…

それも念願だった地元の千葉ロッテへ…」

嬉々たる思いが強すぎ BC リーグの最頂球団である埼玉武蔵ヒートベア

# ある家族から見たBCリーグ

和田まいこ

「またか…」

交代してから、3人連続のフォアボール。  
溜息と苦笑いが、球場全体から聞こえてくる。

「ちゃんと投げろ！」

少し離れた席のおじさんが怒声を上げ、緊張感が走る。

そんな言葉は、彼には届かないでほしいと祈る。  
私の胃はギリギリと痛くなる。

ほどなく監督がマウンドへ近づき、彼はアウトを1つも取れずにベンチへ下がった。

これが、彼のデビュー戦だ。

## 南三陸の夜空にトランペットの音色が響く

～ゼロ泊3日往復600キロ弾丸ツアー～

環 俊次

2019年6月12日(水) BCリーグ 茨城-埼玉武蔵(平成の森しおかぜ) 観戦記

※本項は2019年冬コミで、私の個人サークルで発行したコピー誌に載せたネタに加筆修正したものです。

私はNPBだけではなく、独立リーグであるBCリーグの埼玉武蔵ヒートベアーズ(以下武蔵)のファンも兼任しています。

ヒートベアーズは「熊谷が暑い」ということから命名されたことからもわかるように、熊谷など埼玉県北部を中心に県内の小球場で試合を行っています。大学時代を熊谷で過ごした私にとっては第二の故郷でもあるのでファンになったのですが、好きがこうじていつどんな球場でどんな選手がプレーしているのか、を述べる観戦ガイドという名称の同人誌を描いております。

テレビ中継はおろか、ネットを駆使してもほとんど実情がわからない独立リーグの世界。実際に球場へ足を運ばないとわからないことだらけですし、だからこそ同人誌として書く価値のあるネタだといえます。

私は埼玉県民なので、武蔵のホームゲームだったらどこで試合があっても行けないということはありません。せいぜい小鹿野町(秩父市の北隣)での試合で丸一日つぶされるくらいです……少なくとも、3月6日に今季の日程が発表されるまではそう思っていました。

### 『6月12日(水)武蔵-茨城 南三陸 18:00』

……これでも大学では地理を専攻していましたが、埼玉県に南三陸という名前の市町村はなかったはず。どこかで聞いたことのある名前ですが、念のためグーグル先生に頼ったところ、やっぱり宮城県本吉郡にあるだけでした。

なぜ福島球団すら試合したことのない宮城県、しかもすぐ隣が岩手県という土地で本拠から300キロ離れた武蔵球団が試合をするのかというと、武蔵の片山ヘッドコーチが

# BCリーグは 僻地で やりがち。

ハチマキくるだ

2020/08/30  
茨城vs栃木  
in  
神栖市



まさに  
ふるさとの  
全力  
プロ野球!!

僻地のほうが  
取りやすい  
とかじゃ  
なくて?



神栖って  
公共交通だと  
東京以外からは  
行きにくいん  
だよなあ



← 千葉県民

鹿島神宮～神栖の海岸側  
～銚子を結ぶ路線バスは  
土曜日祝日には5往復しか  
走っていないのです。

高速バスのほうが便利だけど  
千葉県から乗れない

なおどのルートでも  
バス停から30分歩く……

高速バス  
はさき号



ただし  
線路は  
あります。

かしま  
じんぐう

↑  
貨物線



撮る。

おお  
仲間が  
いる





## BCリーグ応援し隊2021

編集責任 ハチマキくろだ(サークル ハチマキ球団)

Email: [bcleaguefun.dojin@gmail.com](mailto:bcleaguefun.dojin@gmail.com)

twitter: @BCLDojin

※ 本作はファン冊子です。お問合わせ等はBCLや球団でなく、  
上記へお願いします。

発行日 2020年11月23日

印刷 大陽出版株式会社

# ROUTE INN BCL Baseball Challenge League

新型コロナウイルス感染症対策地区割

## 西地区

### グループE

富山GRNサンダーバース

石川ミリオンスターズ

### グループF

福井ワイルドラブターズ

オセアン滋賀ブラックス

## 中地区

### グループC

福島レッドホープス

新潟アルビレックスBC

### グループD

群馬ダイヤモンドベガサス

信濃グランセローズ



## 東地区

### グループA

茨城アストロプラネッツ

栃木ゴールデンブレーブス

### グループB

埼玉武蔵ヒートベアーズ

神奈川フューチャードリームス

BCリーグは楽しいぞ——!!

北海道・九州とゾクゾクと設立される独立リーグの中で、四国に続く歴史を持つBCリーグ。12球団とまではいかないけど、各球団のファンが集まり色々と駄弁っていきます!!

BCリーグ愛好家たちが贈る同人誌第3弾。ご覧あれ!!



#### 【注意事項】

本書はルートインBCリーグの愛好家が集まり、独自に制作した同人誌です。BCリーグ公式運営は、本書の発行主体ではありません。内容に係わるお問い合わせは弊サークルまでお願いします。